

学校教育目標

世界の人となる
—桜と鳩と石畳—

いのちを大切にする うつくしい心 (桜)
思いやりのある やさしい心 (鳩)
すすんで学び 行う たくましい心 (石畳)

学校長の願い

- ①子どもの幸せを実現できる学校づくり
○愛される場 ○認められる場
○役立つ場 ○必要とされる場
- ②「わくわくすること」を自分の力で見つけられる子どもの育成

地域・保護者の願い

- ①子どもに豊かな人間性を身につけてほしい。
- ②子どもに学習に励み、運動に親しんでほしい。
- ③子どもに元気に挨拶ができる人になってほしい。

重点目標
自分を表現する子どもの育成

桜

石畳

自分のよさに気づく子ども

- 友達のよさを見つけ認められる
- 自分はかけがえのない存在だと気づく
《なかよしタイム・なかよしの木・夢の木・キャリアパスポートなど》

チャレンジする子ども

- 学習・運動など目標を決めて挑戦する
- 人のために進んで活動できる
- 自分の夢を持ってチャレンジする
《マイチャレンジ・児童会活動・係活動・漢字検定など》

鳩

思いを受け止める子ども

- 地域の方々と交流し興味関心を広げたり、地域への愛着を深めたりする
- 相手の話をよく聞き、気持ちや思いを受け止める
《JRT・担任以外から学ぶ道徳の時間など》

思いを伝える子ども

- 周りの人に自分の気持ちや思いを伝える
- 学年の枠を越えてだれとでも仲良くできる
《あいさつ・歌・JRT・学年の発表・クラブ発表・きずなデー・運動会・音楽会・諸行事など》

授業を通して 日常の活動を通して

温かく、前向きな評価 意欲・態度を伸ばす評価

〔教師が行うこと〕

- ①子ども、保護者、地域の方々に進んであいさつをします。
- ②一時間の授業の充実を図ります。
ア 毎時間、学習課題、まとめを提示し、分かりやすい授業を目指します。
イ 個人で考える時間、話し合いの時間を十分とり、取組のよさを伝えます。
ウ 一時間の授業にねらいに沿って終末には評価を行います。
- ③総合的な学習の時間や生活科を通し、善光寺や地域について学ぶ活動を行います。
- ④「人のためになった」（自己有用感）という気持ちを育てます。
ア 子どもが主体的に取り組む意欲や態度を育てます。
イ 子どもの多様性を認め、かけがえのない存在であることを伝えます。
ウ 子どもが人のために役立つ活動、地域や社会に貢献する活動を計画します。
- ⑤道徳の授業だけでなく日常生活の中で人権教育をしてきます。
- ⑥機会を見て、情報教育（インターネットやSNS）・安全教育（交通安全・不審者対応）を行っています。
- ⑦相談できる日時等をお知らせし、保護者・地域の方との連携を大切にします。

〔地域・保護者の方へ〕

- ①子どもへ温かいあいさつや声かけをお願いします。
- ②保護者の方も子どもと一緒に地域の活動に参加してください。
- ③子どもの話を聞いてあげてください。そして、たくさん認めてあげてください。
- ④ボランティア活動へのご協力をお願いします。
- ⑤PTA 活動へのご協力をお願いします。